

- 1 高床倉庫の柱に取り付けられた、ネズミが倉庫の中に侵入するのを防ぐための工夫を何という？
① ネズミ返し ② 茅葺き ③ 高床 ④ 掘立柱 ☐ ☐
- 2 奴国からの使節の来訪や金印の授与についての記述がある、中国の歴史書を何という？
① 古事記 ② 後漢書 ③ 魏志倭人伝 ④ 日本書紀 ☐ ☐
- 3 江戸時代に金印が発見されたと伝えられている、現在の福岡県にある島は何という？
① 種子島 ② 壱岐 ③ 志賀島 ④ 対馬 ☐ ☐
- 4 弥生時代に大陸から伝わり、武器としてではなく、祭祀や儀式の際に用いられた青銅製の釣り鐘型の道具を何という？
① 銅剣 ② 銅矛 ③ 鏡 ④ 銅鐸 ☐ ☐
- 5 弥生時代に作られた銅剣や銅矛などの青銅器は、主に何という儀式的道具として発展した？
① 狩猟 ② 祭祀 ③ 交易 ④ 農耕 ☐ ☐
- 6 縄文土器と比べて薄く作られ、煮炊きに適していたのはどのような温度で焼かれたから？
① 高温 ② 多湿 ③ 乾燥 ④ 低湿 ☐ ☐
- 7 稲作が普及して富や権力に差が生まれた弥生時代、地域をまとめる存在として現れたまとまりを何という？
① 国府 ② 郡 ③ 大和政権 ④ クニ ☐ ☐
- 8 弥生時代に祭祀の道具として用いられ、指導者の地位の高さを示す象徴となった釣り鐘状の青銅器を何という？
① 銅矛 ② 鏡 ③ 銅鐸 ④ 銅剣 ☐ ☐
- 9 弥生時代に大陸から伝わった金属器のうち、農具や武器として実用的に使われたものを何という？
① 鉄器 ② 石器 ③ 青銅器 ④ 土器 ☐ ☐
- 10 弥生時代に大陸から伝わり、銅剣や銅矛などの作成に用いられた技術のことを何という？
① 木器 ② 金属器 ③ 土器 ④ 石器 ☐ ☐
- 11 佐賀県にあり、周囲に濠（ほり）を巡らせた弥生時代の集落跡として知られる代表的な遺跡を何という？
① 三内丸山遺跡 ② 大森貝塚 ③ 登呂遺跡 ④ 吉野ヶ里遺跡 ☐ ☐
- 12 弥生時代に大陸から金属器とともに伝わり、それまでの採集中心の生活から定住型の社会へ変化させる大きな要因となった技術を何という？
① 漁労 ② 採集 ③ 稲作 ④ 狩猟 ☐ ☐
- 13 弥生時代に導入された金属器のうち、硬度が高く、刃先などの実用的な道具として生産力の向上に貢献したものを何という？
① 木器 ② 鉄器 ③ 青銅器 ④ 石器 ☐ ☐
- 14 『後漢書』東夷伝などの歴史書において、弥生時代の日本列島に多数存在していたとされる政治的なまとまりを何という？
① 小国 ② 邪馬台国 ③ 倭国 ④ 奴国 ☐ ☐
- 15 福岡県の志賀島で発見され、1世紀に中国の皇帝から日本の王に贈られたことを示す重要な遺物を何という？
① 銅矛 ② 銅鏡 ③ 銅鐸 ④ 金印 ☐ ☐



① 隠す

赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

② 言う

解説を読んで、用語を口に出す

③ 印を付ける

言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	柱の途中に板状の出っ張り（ ネズミ返し ）を取り付けることで、地面から登ってくるネズミがそれ以上進めないように工夫されていました。		1 ネズミ返し	☐
2	『 後漢書 』は、後漢時代の出来事をまとめた中国の歴史書です。		2 後漢書	☐
3	福岡県の 志賀島 で、農作業の最中に石の間から金印が発見されたと伝えられています。		3 志賀島	☐
4	銅鐸 は、主に近畿地方を中心に分布しており、弥生時代の村の共同体で行われる祭りや儀式に使われたと考えられています。		4 銅鐸	☐
5	青銅器である銅剣や銅矛は、鋭い刃を持ちながらも実用には適さない繊細なものが多く、主に 祭祀 の場で神聖な道具として使われました。		2 祭祀	☐
6	高温 で焼くことで強度が上がり、煮炊きに適した薄い土器を大量に作ることができました。		1 高温	☐
7	この争いに勝った有力者が周辺の集落を統合し、「 クニ 」と呼ばれる政治的なまとまりを作りました。		4 クニ	☐
8	銅鐸 は青銅製の釣鐘状の道具で、当初は小型でしたが、次第に大型化しました。		3 銅鐸	☐
9	鉄は青銅よりも硬く丈夫であるため、刃先として農具（鋤・鍬）や武器（剣・矛・鏃）などに加工されました。		1 鉄器	☐
10	金属器 には主に銅製品（青銅器）と鉄製品がありました。		2 金属器	☐
11	吉野ヶ里遺跡 は、周囲に二重の環濠と柵をめぐらせた巨大な集落跡です。		4 吉野ヶ里遺跡	☐
12	稲作 が定着したことで、人々は安定した食料を得られるようになり、収穫の時期に合わせて同じ場所に住み続ける定住生活が始まりました。		3 稲作	☐
13	鉄器 は主に農具の刃先や、武器としての剣や矛などに加工されました。		2 鉄器	☐
14	当時の日本は「百余りの 小国 」に分かれていたと『後漢書』などに記されています。		1 小国	☐
15	1784年、福岡県の志賀島で農夫によって発見されました。		4 金印	☐

言えなかった用語ノート